

介護予防事業などへの人材派遣、および「いつでもどこでも脳活プログラム」の実施

各地域包括支援センター、他団体からの依頼に対し、健康づくりフェア、介護予防教室などに作業療法士を派遣している（2022年度派遣実績；延べ32カ所、34名）。また2019年に当会が監修した「いつでもどこでも脳活プログラム（金沢市）」を29カ所で実施、約400名が参加した。2022年度は新たに、高校生が地域の方と一緒にこのプログラムに取り組んだ。

参加者の声

【地域の方】プログラムで楽しかったことを、地域の皆さんに周知したい
 【高校生】とても楽しかった。高齢者と交流する機会は大事だと感じた



中高生と高齢者の交流会の開催

2021年度から中高生と高齢者の交流会を開催している。2022年度は県内4カ所で開催し、中学・高校・大学生26名、高齢者33名が参加した。高齢者はタブレットや自身のスマートフォンを使用し、地図や動画アプリ、またLINE等のビデオ通話を体験した。中高生は、それらの体験をサポートしながら、会話をし、お互いの交流を深めた。



県内作業療法士の認知症施策への関与状況の調査を実施

実施時期：2022年8月～10月

対象：石川県作業療法士会の会員

主な結果：

- ① 回答者の約8割が認知症関連事業に関わっていた。
- ② 協力事業は、認知症に関連する住民向け研修会の講師、認知症予防事業への参画、認知症初期集中支援チームへの参加の順に多かった。
- ③ 現在、認知症に関連事業に関わっていない回答者のうち、約半数が「今後、認知症関連の活動に参画したい」と回答した。

「認知症の人の生活機能を維持するための作業療法士」研修会 開催協力

実施時期：2023年1月～2月(Web研修4回、実地研修1回)

対象：石川県作業療法士会の会員 主催：石川県認知症疾患医療センター

概要：石川県立こころの病院の作業療法士が講師を務め、延べ168名の作業療法士が参加した。認知症の基礎および認知症の作業療法について、講義、事例検討、グループワークを行った。

2023年度 認知症に関する活動計画（概要）

石川県作業療法士会では認知症に関する活動について以下を計画している。

1. 県内の認知症関連事業の事業協力と広報活動

認知症カフェ、介護予防教室などへの参加、中高生と高齢者との交流会の開催

2. 認知症に対する作業療法を実践している作業療法士の技能向上支援

作業療法士を対象に、認知症施策の動向把握、技能向上を目的とした研修会の開催

3. 地域で活動する作業療法士の 実態調査および情報共有

昨年度に引き続き、地域および認知症関連事業に関与している、また今後関わりたい作業療法士の実態調査